

# 現場説明書

令和5年4月1日改正  
特記事項1

仕様書		本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____
工程	① <del>（他工事等との調整）</del> ② <del>（部分完成、着工保留）</del> ③（施工時間） ④ <del>（余裕期間設定工事）</del> ⑤ <del>（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）</del> ⑥（週休2日モデル工事）	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること・しないこと）。 本工事の施工時間は、 <u>8:30 ~ 17:00</u> とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市「週休2日工事モデル工事」試行実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議をすること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。
用地関係	① <del>（用地・物件等末処理）</del>	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ② <del>（支障物件）</del> ③ <del>（立木の置き場所）</del>	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・ <del>調査済み</del> ]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
対公害	①（騒音振動対策）	「建設工事にもとまる騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 <del>なお、交通整理の必要日数_____日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計_____名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計_____名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</del> 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 <del>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第9項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</del> なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置して_____とみならず。
排水処理濁水	①（濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

# 現場説明書

特記事項2

<p><del>【建設発生土（処理）】</del></p> <p><del>①（他工事等流用）</del></p> <p><del>②（建設技術センター）</del></p> <p><del>③（民間残土受入地）</del></p> <p><del>④（土質改良プラント）</del></p>	<p>建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____</p> <p>工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。</p> <p>建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1m<sup>3</sup>当たり円をセンターに支払うこと。</p> <p>建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1m<sup>3</sup>当たり_____円を_____に支払うこと。</p> <p>建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当たり_____円を_____に支払うこと。</p>
<p>【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】</p> <p>⑤（分別解体等）</p> <p><del>⑥（他工事等流用）</del></p> <p>⑦（再資源化施設への搬出）</p> <p>（施設の名称・受入れ費用）</p> <p>（受入れ時間帯）</p> <p>（受入れ条件）</p> <p><del>⑧（木材市場等へ売却）</del></p> <p><del>⑨（最終処理等）</del></p> <p><del>⑩（産業廃棄物の処理に係る税）</del></p>	<p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。</p> <p>なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊 1m<sup>3</sup>当り <u>13,870</u> 円</p> <p>アスファルト塊 1m<sup>3</sup>当り _____ 円</p> <p>建設発生木材 1m<sup>3</sup>当り _____ 円</p> <p>[Co 雑割材・ _____]は、_____市・町・村_____地内 _____ 工事現場に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。</p> <p>再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。</p> <p>なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。</p> <p>コンクリート塊 <u>米子市・<del>町</del>・<del>村</del> 宍江町稲吉</u> 地内の <u>（株）大協組</u>（運搬距離 <u>6.5</u> km）、費用 1t 当り <u>800</u> 円</p> <p>アスファルト塊 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____（運搬距離 _____ km）、費用 1t 当り _____ 円</p> <p>建設発生木材 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____（運搬距離 _____ km）、費用 1t 当り _____ 円</p> <p>その他（ _____ ） _____ 市・町・村 _____ 地内の _____（運搬距離 _____ km）、費用 1t 当り _____ 円</p> <p>8時～17時（平日）</p> <p>ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。</p> <p>イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。</p> <p>ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ cm 以下、長さ _____ m 以下であること。</p> <p>エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。</p> <p>建設発生木材は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ への搬出（片道運搬距離 _____ km）を想定し、_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。</p> <p>_____ については、_____ 市・町・村 _____ 地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離 _____ km）を想定し、その費用として1t 当たり _____ 円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。</p> <p>産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。</p> <p>産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を _____ 円見込んでいる。</p>

# 現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	<p><del>① (建設発生土の使用)</del></p> <p>② (再生資材の使用)</p>	<p>_____ 工事から [当該工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>1) C〇雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>3) ・再生クラッシャーラン [規格： RC-40 ] は、使用箇所： <u>基礎碎石</u> に使用する。          ・再生コンクリート砂 [規格： RS-_____ ] は、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>4) 再生加熱アスファルト混合物 [規格： _____ ] は、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>5) その他再生資材 [資材名： _____ ] [規格： _____ ] は、使用箇所：_____ に使用する。</p>
工事用道路	<p>① (農地の一時転用について)</p>	<p>本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。</p> <p>【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】</p> <p>受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p>
仮設備		

# 現場説明書

特記事項4

その他	<p>① (労災補償に必要な保険の付保)</p> <p>② (現場環境改善)</p>	<p>本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。</p> <p>本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・<del>しない</del>〕。</p> <p>下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。</p> <p>実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。</p> <p>地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。</p> <p>1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">計上費目</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td> <td>1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減</td> </tr> <tr> <td>営繕関係</td> <td>1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td> </tr> <tr> <td>安全関係</td> <td>1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策</td> </tr> <tr> <td>地域連携</td> <td>1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献</td> </tr> <tr> <td>防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)</td> <td>1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）</td> </tr> </tbody> </table>	計上費目	実施内容	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献	防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）
計上費目	実施内容													
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減													
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等													
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策													
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献													
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）													
	<p>③ (現場着工時期)</p>	<p>農業者との錯綜を防ぐため、水稲収穫後の農閑期に着工すること。</p>												

※明示する項目を\_\_\_\_\_部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		□鉄筋コンクリート造 □その他( )	
工事の種類		□新築工事 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・修繕工事 □解体工事 □電気 □水道 □ガス □下水道 □鉄道 □電話 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 水路工事 )	
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 □アスファルト・コンクリート □木材	
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 _____ 年 その他( )	
	周辺状況	周辺にある施設 □住宅 □商業施設 □学校 □病院 □その他( ) 敷地境界との最短距離 約 _____ m その他( )	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 □不十分 その他( )	
	搬出経路	障害物 □有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 <u>2.0</u> m 通学路 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 その他( )	
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)	□有 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他法令関係(解体・維持・修繕工事のみ)	石綿(大気汚染防止法・安全衛生法石綿則) □有 特定建設資材への付着( □有 □無 ) <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	その他		
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ( 構造物撤去工 )	その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		□上の工程における⑤→④→③の順序 □その他( ) その他の場合の理由( )	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン	
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み
		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊	50 トン
		□アスファルト・コンクリート塊	トン
		□建設発生木材	トン
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考			

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。



















事業名	土地改良事業
工事名	下郷地区水路改修工事R5

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コンパクタ(1)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)土質区分 2)作業区分 3)施工区分 4)締め区分	砂・砂質土 埋戻 まき出し 振動コンパクタ(1)		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	特殊作業員	0.200	人			
	普通作業員	0.680	人			
	諸雑費 10%	0.100				
	合計					算出数量 10.000 m3
	単価		m3			
*** S単-2号 ***						
	防護柵等支柱削孔工		本		1.000 日	歩A 当たり算出
	防護柵等支柱削孔工 φ150mm以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)削孔径	φ150mm以下		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	ダイヤモンドビット (コンクリート削孔用) φ150 長70mm	0.500	個			
	コアチューブ (コンクリート削孔用) φ150 長250mm	0.200	本			
	アダプター (コンクリート削孔用) φ150 長80mm	0.100	個			
	土木一般世話役	0.700	人			
	特殊作業員	1.000	人			
	普通作業員	1.000	人			
	コア採取器(コアホーリングマシン) φ50~150mm	1.830	供用日			
	ガンソリン JIS2号 レギュラースタンド	4.000	L			
	合計					算出数量 21.000 本
	単価		本			
*** S単-3号 ***						
	土木一般世話役		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	土木一般世話役			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	土木一般世話役	1.000	人			
	合計					算出数量 1.000 人
	単価					
*** S単-4号 ***						
	特殊作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	特殊作業員			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	特殊作業員	1.000	人			
	合計					算出数量 1.000 人

事業名	土地改良事業
工事名	下郷地区水路改修工事R5

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価					
	*** S単- 5号 ***					
	普通作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
	普通作業員	1.000	人	時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単- 6号 ***					
	コンクリート殻投棄料		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	コンクリート殻投棄料 側大協組			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格 3) 単価の入力	側大協組		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
	コンクリート殻投棄料 側大協組	1.000	ton	時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価					
	*** S単- 7号 ***					
	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】 有筋, 制約無, 機械, 昼間施工, しない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1) 作業区分 2) 制約状況	有筋 制約無		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
	3) 施工区分 I 4) 施工区分 II	機械 昼間施工		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	5) 低騒音・低振動対策	しない				
	構造物とりこわし鉄筋構造物 制約無 機械 機労 昼間	1.000	m3			
	合 計					算出数量 1.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単- 8号 ***					
	【排水構造物工】		m		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 U型側溝, 昼間施工, L=2000, 1000kg/個以下, なし, -, -, 基礎碎石の施工有り, 再利用撤去を行わない			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1) 施工区分 I 2) 施工区分 II	U型側溝 昼間施工		超勤時間:0.0 公社割引補正:なし	深夜時間:0.0 週休:補正なし	
	3) 規格 I 4) 規格 II	L=2000 1000kg/個以下		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	5) 時間的制約 6) L=1000を使用	なし L=1000を使用しない				
	7) L=4000を使用 8) L=5000を使用	L=4000を使用しない L=5000を使用しない				
	9) 法面小段面 10) 法面縦排水	- -				
	11) 再利用撤去の有無 12) 基礎碎石の施工有無	再利用撤去を行わない 基礎碎石の施工有り				
	排水構造物工 U型側溝 時間的制約無 L=2000mm 1000kg/個以下 機・労 昼間単価	1.000	m			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]			

事業名	土地改良事業
工事名	下郷地区水路改修工事R5

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単- 9号 ***					
	【排水構造物工】		枚		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 蓋版, 昼間施工, コンクリート・鋼製, 40kgを超え170kg/枚以下, なし, 一, 二, 再 利用撤去を行なう					冬期補正: なし 重熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし 時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0
	1) 施工区分 I 2) 施工区分 II 3) 規格 I 4) 規格 II 5) 時間的制約 9) 法面小段面 11) 再利用撤去の有無 12) 基礎砕石の施工有無	蓋版 昼間施工 コンクリート・鋼製 40kgを超え170kg/枚以下 なし -				豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし 制約作業時間: 0.0
	排水構造物工 蓋版 時間的制約無 コンクリート・鋼製40を超え170kg/枚 機・労 昼間単価	1,000	枚			
	合計					算出数量 1,000 [各単位]
	単価		[各単位]			
	*** S単- 10号 ***					
	【排水構造物工】		枚		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 蓋版, 昼間施工, コンクリート・鋼製, 40kgを超え170kg/枚以下, なし, 一, 二, 再 利用撤去を行なわない					冬期補正: なし 重熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし 時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0
	1) 施工区分 I 2) 施工区分 II 3) 規格 I 4) 規格 II 5) 時間的制約 9) 法面小段面 11) 再利用撤去の有無 12) 基礎砕石の施工有無	蓋版 昼間施工 コンクリート・鋼製 40kgを超え170kg/枚以下 なし -				豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし 制約作業時間: 0.0
	排水構造物工 蓋版 時間的制約無 コンクリート・鋼製40を超え170kg/枚 機・労 昼間単価	1,000	枚			
	合計					算出数量 1,000 [各単位]
	単価		[各単位]			
	*** S単- 11号 ***					
	発動発電機[G駆動・～低騒音型]		日		1,000 日	歩A 当たり算出
	発動発電機[G駆動・～低騒音型] 発動発電機(ガソリンエンジン駆動), 2kVA					冬期補正: なし 重熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし 時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0
	1) 機械区分 2) 規格 3) 運転1日当たり運転時間(T) 4) 運転日に対する供用日の割合(YC) 5) 長期割引単価区分(賃料機械)	発動発電機(ガソリンエンジン駆動) 2kVA 7.0 1.33				豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし 制約作業時間: 0.0
	発動発電機[G駆動・～低騒音型] 定格容量2kva	1,330	日			
	ガソリン J1S2号 レギュラースタンド	8,400	L			
	合計					算出数量 1,000 日
	単価		日			
	*** S単- 12号 ***					
	排水ポンプ運転(小口径)		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ運転(小口径) 30, 作業時排水, 0以上～6未満, 発動発電機, なし					冬期補正: なし 重熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし 時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0
	1) 運転日数 2) 排水方法 3) 排水量(m3/h) 4) 動力区分 5) 長期割引単価区分(賃料機械)	30 作業時排水 0以上～6未満 発動発電機				豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 週休: 補正なし 制約作業時間: 0.0
	発動発電機[G駆動・～低騒音型] 定格容量2kva	33,000	日			



事業名	土地改良事業
工事名	下郷地区水路改修工事R5

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	270.000	L			
	特殊作業員	4.200	人			
	諸雑費	0.100				
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価					
	*** S単- 13号 ***					
	排水ポンプ据付撤去 (小口径)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ据付撤去 (小口径) 口径 50mm, なし			冬期補正: なし 重熱帯補正: なし	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0	
	1) ポンプ規格 2) 長期割引単価区分 (賃料機械)	口径 50mm		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	土木一般世話役	0.300	人			
	普通作業員	0.500	人			
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** S単- 14号 ***					
	SP 積込 (ルーズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込 (ルーズ) 土砂, 小規模 (標準)			冬期補正: なし 重熱帯補正: なし	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 土質 2) 作業内容	土砂 小規模 (標準)				
	単 価		m3			
	*** S単- 15号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂, 上記以外 (小規模), -, -			冬期補正: なし 重熱帯補正: なし	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 土質 2) 施工方法 3) 土留方式の種類 4) 障害の有無	土砂 上記以外 (小規模) - -				
	単 価		m3			
	*** S単- 16号 ***					
	SP 葺運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 葺運搬 コンクリート (鉄筋) 構造物とこわし, 機械積込, 無し, 8.0km以下			冬期補正: なし 重熱帯補正: なし	豪雪補正: 10% 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 葺発生作業 2) 積込工法区分 3) DID区間の有無 4) 運搬距離	コンクリート (鉄筋) 構造物とこわし 機械積込 無し 8.0km以下				
	単 価		m3			
	*** S単- 17号 ***					

事業名	土地改良事業
工事名	下郷地区水路改修工事R5

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	SP 基礎砕石		m <sup>2</sup>		1.000 m <sup>2</sup>	歩A 当たり算出
	SP 基礎砕石 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシュラン RC-40 40~0mm			冬期補正:なし 重熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1) 砕石の厚さ 2) 砕石の計上 3) 長期割引単価区分 4) 規格区分	7.5cmを超え12.5cm以下 計上する 再生クラッシュラン RC-40 40~0mm				
	単 価		m <sup>2</sup>			
	*** S単- 18号 ***					
	SP コンクリート		m <sup>3</sup>		1.000 m <sup>3</sup>	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,一,一般養生,二,無し,三,18-8-40(高 がB) W/C65%			冬期補正:なし 重熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1) 構造物種別 2) 打設工法 3) コンクリートの計上 4) 設計日打設量 5) 養生工の種類 6) 圧送管延長距離区分 7) 現場内小運搬の有無 8) 打設高さ、水平打設距離 10) 規格区分	小型構造物 人力打設 計上する - 一般養生 - 無し - 18-8-40(高がB) W/C65%				
	単 価		m <sup>3</sup>			
	*** S単- 19号 ***					
	SP 型枠		m <sup>2</sup>		1.000 m <sup>2</sup>	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物			冬期補正:なし 重熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1) 型枠の種類 2) 構造物の種類	一般型枠 小型構造物				
	単 価		m <sup>2</sup>			

事業名	土地改良事業
工事名	下郷地区水路改修工事R5

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** T単-1号 ***					
	埋戻し		m3		100.000	歩A 当たり算出
	現場発生土					
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	100.000	m3			S単 14号
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,振動コンパクト(I)	100.000	m3			S単 1号
	合 計					算出数量 100.000 m3
	単 価		m3			
	*** T単-2号 ***					
	角フリューム		m		10.000	歩A 当たり算出
	FS500					
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎碎石の施工有り,再利用撤去を行なわない	10.000	m			S単 8号
	角形フリューム 幅500mm 深500mm 長2.0m	5.000	個			
	フリューム・タイト 500型用	5.000	個			
	SP 基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,なし,再生クラッシュヤラン RC-40 40~0mm	6.000	m <sup>2</sup>			S単 17号
	合 計					算出数量 10.000 m
	単 価		m			
	*** T単-3号 ***					
	取水工		箇所		10.000	歩A 当たり算出
	防護柵等支柱削孔工 φ150mm以下	10.000	本			S単 2号
	合 計					算出数量 10.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** T単-4号 ***					
	角落とし工		箇所		10.000	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉B) W/C65%	0.330	m3			S単 18号
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	5.500	m <sup>2</sup>			S単 19号
	合 計					算出数量 10.000 箇所
	単 価		箇所			
	*** T単-5号 ***					
	蓋版撤去・設置		式		1.000	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,コンクリート・鋼製,40kgを超え170kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を行なう	53.000	枚			S単 9号
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,コンクリート・鋼製,40kgを超え170kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を行なわない	53.000	枚			S単 10号
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			









## 土 工 数 量 計 算 書

測 点	单 距 離	種 別	床 掘			種 別				摘 要
		細別・規格	土 砂			細別・規格				
		修正距離	断 面 積	平 均	立 積	修正距離	断 面 積	平 均	立 積	
NO. 15 +2.0	0.0		0.47							
NO. 16	38.0		0.47	0.47	17.9					
NO. 17	40.0		0.47	0.47	18.8					
NO. 17 +28.10	28.1		0.47	0.47	13.2					
NO. 17 +39.6	0.0		0.48							
NO. 18	0.4		0.48	0.48	0.2					
NO. 19	40.0		0.48	0.48	19.2					
NO. 20	40.0		0.48	0.48	19.2					
NO. 21	40.0		0.48	0.48	19.2					
NO. 22	40.0		0.48	0.48	19.2					
NO. 23	40.0		0.48	0.48	19.2					
NO. 23 +26.9	26.9		0.48	0.48	12.9					
合 計	333.4				m <sup>3</sup> 159.0					



## 土 工 数 量 計 算 書

測 点	単 距 離	種 別	埋 戻			種 別				摘 要
		細別・規格	流用土 : W<2.5m			細別・規格				
		修正距離	断 面 積	平 均	立 積	修正距離	断 面 積	平 均	立 積	
NO. 15 +2.0	0.0		0.55							
NO. 16	38.0		0.55	0.55	20.9					
NO. 17	40.0		0.55	0.55	22.0					
NO. 17 +28.10	28.1		0.55	0.55	15.5					
NO. 17 +39.6	0.0		0.62							
NO. 18	0.4		0.62	0.62	0.2					
NO. 19	40.0		0.62	0.62	24.8					
NO. 20	40.0		0.62	0.62	24.8					
NO. 21	40.0		0.62	0.62	24.8					
NO. 22	40.0		0.62	0.62	24.8					
NO. 23	40.0		0.62	0.62	24.8					
NO. 23 +26.9	26.9		0.62	0.62	16.7					
合 計	333.4 <sup>m</sup>				199.3 <sup>m3</sup>					





## 構 造 物 撤 去 工 数 量 計 算 書

測 点	単 距 離	種 別	構造物取壊し工			種 別				摘 要
		細別・規格	コンクリート構造物取壊し			細別・規格				
		修正距離	断 面 積	平 均	立 積	修正距離	断 面 積	平 均	立 積	
NO. 15 +2.0	0.0		0.06							
NO. 16	38.0		0.06	0.06	2.3					
NO. 17	40.0		0.06	0.06	2.4					
NO. 17 +28.10	28.1		0.06	0.06	1.7					
NO. 17 +39.6	0.0		0.62							
NO. 18	0.4		0.06	0.34	0.1					
NO. 19	40.0		0.06	0.06	2.4					
NO. 20	40.0		0.06	0.06	2.4					
NO. 21	40.0		0.06	0.06	2.4					
NO. 22	40.0		0.06	0.06	2.4					
NO. 23	40.0		0.06	0.06	2.4					
NO. 23 +26.9	26.9		0.06	0.06	1.6					
合計	333.4				20.1					